

危機管理（リスクマネジメント）ガイドライン

I 目的

海外遠征時、強化活動中の事故、災害、死傷、テロ、諸問題に遭遇した場合の危機管理をここに示す。

選手・コーチ・強化事業に参加するすべての者は、自己責任において国内強化事業および海外派遣事業に参加することとする。

その時の状況によって、冷静沈着に判断、行動することで安全に諸問題を回避することを基本とする。

II 基本原則

日本選手団としてその品格にふさわしい行動、言動を心掛けること。

- ・華美な装飾品を身に着けたりせず、目立たないようにする
- ・日常行動のパターン化を避け、行動を予知されない
- ・緊張感を持って常に周囲を注意し、用心を怠らない
- ・犯罪にあっても生命の安全を第一に考え、可能な限りに抵抗しない
- ・遠征先、渡航先の治安状況など、その国・都市の安全に関する十分な知識を持つ

III 留意事項

● 渡航時の注意

- ・テロ・密輸に関するトラブルを回避するため、他人の荷物を預からない。
- ・荷物のパッキングは各自で行う。
- ・空港出迎え詐欺・置き引きに注意
- ・出迎えは慎重に予約をし、確認できる用意をする。
- ・白タクや客引きするタクシーは絶対に利用しない。
- ・正規の乗り場から正規のタクシーを利用する。
- ・宿泊先の住所、連絡先をメモし、常時携帯する。
- ・貴重品は持ち歩かない。現金は分散して所持する。
- ・人前で現金や貴重品は見せない。
- ・親しげに話しかけてくる者を信用しない。また、飲み物・チョコレート・ガム等を勧められても食べない。
(睡眠薬強盗)
- ・夜間や早朝の外出は極力避ける。また、人通りの少ない場所を一人歩きしない。
- ・健康に関する注意
- ・緊急時であっても血液・体液等には極力触れないこと。(感染症予防)
- ・感染症が発生している都市では、外出時にはマスク等で予防し人ごみを避ける。
- ・手洗い、うがいを励行する。
- ・水道水の生水を飲まない。(ミネラルウォーターで対応)

● テロ対策について

- ・日本のスポーツ選手が標的になる可能性が大きい。目立たないようにする。
- ・テロの標的となる可能性がある施設等の危険な場所には近寄らない。
- ・爆発音を聞いたら、まずその場に伏せる。(乗り物の中でも) 第2の爆発を避けるために現場から離れる。

● 交通事故について

- ・交通事故発生の場合は、最寄りの警察官の指示に従うこと。

- 軽微な事故でも、当事者同士の解決、金銭の授受を行ってはならない。
 - レンタカー会社（現地担当者）へ連絡し、対応の指示を受ける。
 - 国際免許の携帯および登録された該当者の運転が基本であり、該当者以外の運転は絶対してはならない。（保険処理の簡素化）
 - 事故による人身事故は、相手方連絡先を控える。
 - 日本チームメンバーの人身事故が発生した場合は、救急車の手配を行い搬送された病院、怪我の状況をチームリーダーに連絡する。
- 不測の事態への対応について
- 陸上で強盗や盗難にあった場合「生命を第一優先に考えること」
 - 騒ぎたてない。反撃しない。（抵抗しない）相手の目を凝視しない。相手の要求に従う。行動はゆっくり。
 - 遠征先の現地アテンダーまたはチームリーダーに連絡、報告する。
 - 現地の警察に被害届けを出して、被害届けの受理書（ポリスレポート）の原本を受け取る。（パスポートなどの再発行や保険請求などの際に必要）
 - 路上強盗や睡眠薬強盗に遭った場合、軽い症状であっても後遺症がでる可能性もあるので、病院で診察を受ける。
 - 海外遠征中の滞在場所は明確にし、いつでも連絡が取れる様に携帯電話を携帯することが望ましい。
 - 海外遠征中はJ S A F事務局・現地連絡先と定期的に連絡を取り合い、またJ S A F事務局からの指示を受けられる体制をとる。
 - 海外遠征中は現地大使館、現地事務所、又は海外駐在員の連絡先を把握し、緊急事態が発生した時は速やかに連絡をとる。
 - 大会前後にサポートボート、船外機、セーリング備品等の盗難が多く発生しているので注意すること。
 - トレーラーに搭載した状態で夜間に保管する場合は、トレーラーと固定物に施錠またはチェーン等で連結することで、トレーラーごとの盗難が避けられる。
 - サポートボート、トレーラーには、保険を掛けることが望ましい。
- 自然災害にあった場合
- 地震、津波、集中豪雨等の自然災害に遭遇した場合は、状況判断を行い、自らの意思で行動することが優先される。
 - もし遭遇した場合は、廻りの人の行動を把握し、単独行動をせず同じ避難方法を選択する。
 - 大規模災害の場合は、訪問国の日本大使館および領事館担当官の指示に従うこと。
- その他
- 遠征先、訪問国の情報を事前に入手する場合は、たびレジ、海外安全ホームページを利用して最新情報を得るようにする。
- 海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>
 たびレジ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>
- パスポート紛失等も外務省のページから確認するのがよい。クレジットカード紛失は各カード会社への連絡で対処すること。

国内への緊急連絡先

オリ強委メールアドレス；oly-kyou@jsaf.or.jp

JSAFメールアドレス；head@jsaf.or.jp

JSAF連絡先；TEL 03-3481-2357 FAX 03-3481-0414

*緊急連絡が日本の深夜になる場合（時差の関係）

オリ強委のメンバーの連絡先を遠征等毎に指定する。

スポーツにおける暴力・ハラスメントについて

公益財団法人 日本体育協会のHPより 暴力行為根絶宣言

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2636>

JSAF 窓口は上記連盟事務局と吉岡・辻総合法律事務所の2か所です。

吉岡 桂輔弁護士 吉岡 真帆弁護士

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-10 第2ローレルビル8階

電話 03-3519-4100 FAX03-3519-4101 メール yoshioka@hopelaw.jp

*詳しくは、連盟HPのトップページ右下の「通報相談窓口 選手・指導者」で確認。

IV 自己責任の原則

選手・コーチ・強化事業に参加するすべての者（以下、「参加者」という。）は、自己責任において国内強化事業および海外派遣事業に参加するものであるから、参加によっていかなる事態が起きようとも、オリ強及び／またはJSAFに対して、何らの請求、要求などを行わないものとし、オリ強及びJSAF並びにその役員・従業員・委員・スタッフを免責するものとする。